

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	5月27日(金)	第52回 通常総会	札幌市	4号2ページ参照
	5月28日(土)	総合講演会	同	4号2 "
	5月28日(土)	懇親会	同	4号2 "
	5月28日(土)	}年次学術講演会	同	4号2 "
	5月29日(日)			
	5月29日(日) ~30日(火)	見学会	北海道各地	3号2 "
関東支部	4月27日(水)	第3回支部総会	土木学会	4号6 "
	5月19日(木)	見学会	東京	4号6 "
	5月24日(火)	地盤注入工法の手引の解説講習会	同	4号6 "
中部支部	4月23日(土)	支部総会	津市	4号8 "
関西支部	5月10日(火)	第39回支部総会	大阪	4号7 "
	5月24日(火) ~25日(水)	土木構造物の振動と安定性に関する講演会	同	4号7 "
そ の 他	4月20日(水)	日本工学会第16回見学会	東京	4号8 "
	4月19日(火) ~21日(木)	第3回理工学における同位元素研究発表会	同	12号5 "
	5月9日(月) ~14日(土)	第28回住宅・都市計画・地域計画世界会議	同	4号9 "
	5月20日(金)	都市再開発講演会	大阪	4号9 "
	5月26日(木)	日本工学会講演会	東京	4号8 "
お知らせ	■ 北海道支部移転のお知らせ			3号4 "
	■ 昭和41年度夏期講習会			4号3 "
	■ 第2回「国土開発映画コンクール」作品募集			4号3 "
	■ 第3回衛生工学研究討論会原稿募集			4号3 "
	■ 第10回材料試験連合講演会講演募集			4号4 "
	■ 第3回世界地震工学会議事録ご希望の方へ			4号4 "
	■ 日本地震工学シンポジウム(1966)開催と発表論文の募集			4号5 "
	■ 日米科学協力事業のしおりご希望の方へ			4号9 "
■ 国際会議のお知らせ			4号92 "	

第52回通常総会招集のお知らせ

第52回通常総会を下記によって招集いたします。

多数のご出席をお願いいたします。なおご欠席の場合は本誌51巻3号添付「はがき」によって委任状をご送付下さるよう、お願いいたします。

記

日 時：昭和41年5月27日(金)14時より

場 所：札幌市北三条西四丁目(日本生命ビル)

会議に付議すべき事項：

- 1) 昭和40年度事業報告
- 2) 昭和40年度決算報告
- 3) 名誉会員の推挙

第 52 回通常総会および第 21 回年次学術講演会

昭和 41 年度通常総会および年次学術講演会は、つぎの日程で札幌市において開催いたします。

学術講演会の講演申込みおよび原稿は締切りでしたが、多数ご参加下さるようご案内いたします。

総会、懇親会、見学会、講演概要などの申込み方法は従来はプログラムでお知らせいたしておりましたが、今回より本誌でお知らせすることになりましたのでご了承下さい。期日の関係で申込用紙を本誌 51 巻 3 号に添付いたしましたのでご注意下さい。なお、プログラムは従来通り別途送付致します。

○行 事 日 程：

1. 通常総会：5 月 27 日（金）14 時～17 時 於日本生命ビル（札幌市北 3 条西 4 丁目）
2. 総合講演会：5 月 28 日（土）9 時～12 時 於北大クラーク会館（北大構内）

9.05～10.00 日本港湾の特異性と臨海工業地帯造成事業の推移	土木学会会長 工博 岡部 三郎
10.05～11.00 北海道開拓 100 年の歩み	北海道大学教授 農博 高倉 新一郎
11.05～12.00 北海道開発の現況	北海道開発局長 遊 佐 志 治 磨
3. 学術講演会：5 月 28 日（土）13 時～17 時 } 於北大教養部・工学部・理学部・医学部（札幌市北 17 条西 8 丁目）17 条
 5 月 29 日（日）9 時～17 時 } 電停下車
4. 懇 親 会：5 月 28 日（土）18 時～19 時 30 分 宮の森ガーデン（札幌市郊外宮の森・北海道神宮裏）会費：500 円
5. 見 学 会：会費：A 班 200 円 B 班 5000 円 C 班 8500 円
 - (A) 札幌市内コース 5 月 30 日（月）（3 時間）
 - (B) 登別、洞爺コース 5 月 30 日～31 日 登別泊、洞爺駅 16.00 時解散
 - (C) 阿 寒 コ ー ス 5 月 29 日夜行～31 日 川湯温泉泊、釧路駅 17.30 時解散

○土木学会第 21 回年次学術講演会実施要領

I 講演要領

- ① 研究発表には、各部門ともできる限り一般報告の方式を採用し、やむを得ない場合に限り著者自らによる個人発表の方式を採用する。
- ② 一般報告の方式は、同じ種別の論文数編ずつを、学会で委嘱した一般報告者が総括して報告し、その後で質疑討論を行なう。この場合の応答には、各著者が自らこれに当たり、場合により著者の補足説明を認められる。
- ③ 一般報告に付する論文は、学会で決定し、プログラムにのせる。
- ④ 講演概要の記述にあたっては、一般報告者が、その概要にもとづいて報告することを予想し、必ずそれぞれの研究の考え方と結論をわかりやすく書くこと。
- ⑤ 個人発表の方式では、講演時間を 10 分（交代時間をふくむ）とし、数編の講演後にまとめて質疑討論の時間を設ける。
- ⑥ 講演概要集は 4 月下旬に各参加者に事前送付する。

II 原稿提出要領：原稿は 2 月 28 日で締切りました。

○申 込 方 法

通常総会・総合講演会・年次学術講演会・懇親会の参加申込みは本誌 51 巻 3 号添布のクリーム色の用紙で、また見学会・宿泊・乗車券・航空券の申込みは浅黄色の用紙にそれぞれ必要事項をご記入の上、4 月 15 日までに土木学会北海道支部へお申込み下さい。なお、北海道支部は下記へ変更致しましたのでご注意下さい。

札幌市南一条西 2 丁目・勸銀ビル 5 階（電 札幌 25—2211・内線 252）

土木学会北海道支部事務局大会係あて

昭和 41 年度夏期講習会開催案内

◀ 8 月 25 日 (木) ~ 26 日 (金) ▶

今年の夏期講習会は、時期を同じくして出版される「土木技術者のための振動便覧」をテキストとして行ないませんが、便覧中から特に一般の技術者が興味をもち、また実務上にも必須と思われるケースを選んで、わかりやすく説明を加えるものであります。くわしくは追ってお知らせいたしますが、多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 会 場：杉並公会堂（東京都杉並区上荻 1-23-15；国電または地下鉄、荻窪駅北・西口から約 5 分）
2. テー マ：「土木工学における振動と耐震の諸問題」
3. 参 加 費：未 定
4. 内 容：次号でお知らせします

第 2 回「国土開発映画コンクール」作品募集

土木学会は昭和 39 年秋、創立 50 周年を記念して「国土開発映画コンクール」を開催いたしました。この実績にかんがみて、今後隔年に映画コンクールを開催し、もって最近の土木技術発展のあゆみを、視聴覚によって、広く PR せんとするものであります。「第 2 回国土開発映画コンクール」作品をつぎによって募集いたします。ふるって応募のほどお願いします。なお、優秀作品は、当学会「建設技術フィルム・ライブラリー」として活用をはかる予定であります。

第 2 回国土開発映画コンクール要領

1. 内 容：国土開発に関し、土木技術を主とした映画
2. 規 格：16 mm カラートーキー（上映時間 20 分以上）
3. 審 査：土木学会映画審査委員会
4. 賞 状：1 等 1 編 2 等 2 編 3 等 3 編 おのおの賞状ならびに賞牌
5. 発 表：1966 年 11 月 24 日（土木学会創立記念日）
6. 締 切：1966 年 9 月 30 日
7. 申 込 先：土木学会事業課あて

第 3 回衛生工学研究討論会論文提出募集について

土木学会衛生工学委員会では一昨年は“下水の生物処理”，昨年は“水質汚濁に関する諸問題と凝集および沈殿処理”をテーマに討論会を開催し非常に好評を博しましたが、本年度は下記により第 3 回衛生工学研究討論会を開催いたします。論文提出希望者はふるってご応募下さい。

1. 主 催：土木学会衛生工学委員会
2. 期 日：1966 年 11 月（1 ないし 2 日間）
3. 会 場：土木学会土木図書館講堂
4. 論文内容：1) 送配水について（計画・設計・施設・管理その他）
2) 下水処理について
3) その他（今年度は上記課題の他に自由課題を含む）
5. 申込方法：7 月 15 日までに B5 判用紙に論文題目、研究者氏名（共同研究の場合は講演者に○印を付ける）、勤務先、連絡先を明記し、講演梗概（800 字程度）を付して、土木学会衛生工学委員会宛お申込下さい。
6. 採 否：論文の採否は衛生工学委員会にご一任下さい。なお、採用決定のうちは改めて講演原稿の提出方をお願いします。

第 10 回材料試験連合講演会講演募集要項

共 催：日本学術会議材料試験研究連絡委員会，化学工学協会，金属表面技術協会，高分子学会，造船協会，土木学会，日本鑄物協会，日本化学会，日本機械学会，日本金属学会，日本建築学会，日本航空学会，日本材料学会，日本セメント技術協会，日本鉄鋼協会，日本非破壊検査協会，日本木材学会，溶接学会，窯業協会

幹事学会：高分子学会，土木学会，日本航空学会，日本材料学会

日 時：1966 年 9 月 8 日（木）・9 日（金）

会 場：京大工学部土木総合館

- 講演申込**：1. 参加学会所属の会員は当該学会をつうじて申し込み，参加学会会員以外の方は直接幹事学会に申し込むこと。
 2. 講演内容はすでに発表されたものでも差しつかえないが，最近の研究に属するものが望ましい。なお，研究内容は材料の諸物性，諸性質の測定および試験ならびに材料の適切な使用に関する応用研究を包含する。
 3. 講演時間は約 20 分（討論を含む）の予定。
 4. 講演の採択などは材料試験連合講演会運営委員会に一任されたい。
 5. 申込用紙は B 5 判とし，つぎの事項を必ず記載すること
 a) 講演題目 b) 梗概約 200 字 c) 講演部門名 d) 講演ならびに連名者の各氏名，勤務先，通信先，学会員資格，年齢（連名の場合には登壇者に○印をつけること） e) 講演題目，氏名，勤務先には英文を付記すること
 f) スライド使用の有無（大きさは 35 mm） g) 欧文論文集（付記参照）へ投稿希望の有無

講演部門：I. Micro-structure of materials（微視的構造） II. Mechanics of materials（材料の力学—弾性，塑性，粘弾性等） III. Mechanical properties of materials（材料の力学的性質） IV. Other properties of materials（材料のその他の性質） V. Strength of structures（構造強度） VI. Working and processing of materials（材料の加工と処理） VII. Special problems（その他）

申込締切：1966 年 8 月 20 日（月）

- 講演前刷**：聴講者のテキストとし，あわせて講演時間の短縮，掛図などの節約のため，講演者全部の講演前刷を作るので，講演者は前刷原稿を必ず期日までに所属学会へ（参加学会会員以外の方は，申し込んだ幹事学会へ）提出すること。
 a) 講演前刷原稿提出期日 7 月 20 日（水）
 b) 前刷原稿は規定の原稿用紙 2 枚以内（図表，写真を含めて邦文で約 2600 字）に明りようにスミ書きし，なるべく余白を避けるように留意のこと（講演前刷はオフセットになるので写真も入れることができる）。
 c) 所定原稿用紙は講演申込者に所属学会から送り，所定用紙以外に書いた原稿は受付けない。

（付 記）

1. 発表論文は Proceedings of the Tenth Japan Congress on Testing Materials にのせ，諸外国にも頒布の予定である。
2. 本論文集に登載される論文は今回発表されたもので欧文で未発表のものに限る。
3. 投稿希望者は別に送られる規定原稿用紙に執筆し，講演会当日までに，日本材料学会気付材料試験連合講演会論文集刊行会（京都市左京区吉田泉殿町 1 の 101 電話 京都 56-5321）に提出すること。
4. 当日以降の提出原稿は受理しない。また，不備な原稿は返却することがある。

第 3 回世界地震工学会議議事録ご希望の方へ

昨年 1 月ニュージーランドで開催された第 3 回世界地震工学会議議事録（論文集）が今年の 6 月に公刊されることになりました。全 3 巻で 12 ニュージーランドポンドの見込みです。まだ申込みれない方で希望者は希望冊数を記入し下記へお申込み下さい。支払方法，送付方法は直接連絡してくることになっています。

Mrs. J.H. Van Roekel Administrative Secretary 3 W.C.E.E., P.O.Box 5180 Wellington, New Zealand.

日本地震工学シンポジウム（1966）開催と発表論文の募集

標記シンポジウムは 1962 年に第 1 回を開催し、所期の成果をあげることができました。これによって 1965 年 1 月ニュージーランドで開催の第 3 回世界地震工学会議にわが国代表団が世界の期待する研究成果を発表できた素地が築かれたものと信じております。

このシンポジウムは世界会議の中間年に催して、わが国としては繋ぎの研究集会としての大きな意義をもつものになって参りましたので、海外研究者の有志にも参加できるよう門戸を開いて、つぎによる第 2 回目のシンポジウムを開催し、国内の地震工学研究者、技術者の研鑽と交流および研究情報交換の場に致したいと存じますから、会員各位には下記規定ご参照のうえふるってご応募下さい。

なお、土木学会において毎年開催しております地震工学発表会は 1966 年は開催いたしませんことを申添えます。

主催：地震学会・土質工学会・土木学会・日本建築学会

(1) 開催予告

- 1) 日時：1966 年 10 月 24 日（月）～26 日（水）9 時～16 時 30 分シンポジウム
 " 10 月 27 日（水）見学会（詳細は追って発表）
- 2) 場所：東京都千代田区有楽町 1 丁目第一生命館 6 階第一生命ホール
- 3) シンポジウムの内容：論文発表およびパネル討論
- 4) パネル討論：下記のように決定しました。

テ ー マ	司 会	内 容	主 題 説 明 者
I 建造物の地震応答観測	金 井 清（東大震研）	1 建築物における現況 2 土木構造物における現況 3 観測法に関する問題点	大 沢 胖（東大震研） 大久保忠良（建設省土研） 田 治 見 宏（日大建築）
II 地震時の地震性状	最上武雄（東大土木）	1 地表層の振動 2 地 耐 力 3 動的地盤係数	嶋 悦 三（東大震研） 白石俊多（地下工事コンサ） 後藤尚男（京大土木）
III 建造物の耐震試験	梅 村 魁（東大建築）	1 建築物の耐震試験—方法と結果— 2 土木構造物の耐震試験—方法と結果— 3 耐震試験に関する問題点	中川恭次（建設省建研） 林 聡（運輸省港研） 小堀鐸二（京大建築）

(2) 論文発表の募集

- 1) 発表論文の内容：地震工学に関するもの（発表論文は最近の研究に属するものが望ましいが、既発表のものを含んで差し支えない）。
- 2) 応募の方法：
 - a 論文提出希望者は 1966 年 5 月 15 日までに所属学会、氏名（ローマ字付記）、勤務先（英文付記）、職名、連絡先を明記のうえ、邦文約 800 字または英文約 400 語の内容梗概を所属学会または今回の幹事会である日本建築学会に提出する。
 - b シンポジウム運営委員会は発表論文の採否を 5 月末日までに決定し、すみやかに応募者に通知する。
 - c 採択された論文著者は 1966 年 7 月末日までにつぎの体裁に整えた原稿を所属学会または幹事学会に提出する。
- 3) 発表論文の体裁：
 - a 用語は日本語または英語とする。
 - b 日本語の場合著者は送付された所定の用紙 3 枚または 5 枚（図、表、写真を含めて 3 枚の場合約 4 900 字、5 枚の場合約 8 200 字）にタイプする。別にタイプ用紙 1 枚（約 500 語）にタイプした英文の内容梗概をつける。
 - c 英文の場合は所定用紙 4 枚または 6 枚（図、表、写真を含めて 4 枚の場合約 2 400 語、6 枚の場合約 3 600 語）とする。いずれの場合も前記（2）、2）—b）によって執筆者に送付する原稿用紙に添付の執筆要項により、オフセット印刷に適するよう黒色を用いる。
- 4) 発表論文の取扱い：
 - a 発表論文は前刷としてオフセット印刷し、希望者には実費頒布できるようにする。
 - b シンポジウム後討論その他の補足をオフセット印刷し、前刷の発表論文とあわせてプロシーディングスとする。著者には論文 1 題につき別刷 50 部を贈呈する。

関東支部行事案内（東京都新宿区四谷1丁目 土木学会事業課内・電 東京 351—4133）

（1） 支部総会（第3回通常総会） ◀ 4月27日（水）16.00より ▶

1. 場 所：土木学会土木図書館講堂
2. 議 題：①昭和40年度事業報告および決算報告の承認 ②昭和41年度事業計画および予算の報告 ③商議員改選の承認
◎ この会告をもって総会開催通知といたします。支部会員多数ご出席下さい。

（2） 首都高速道路見学会 ◀ 5月19日（木）13.00より ▶

首都高速道路1号線、4号線の快適なドライブと、3号線、2号線工事現場見学の会を実施いたしますから、ふるってご参加下さい。

1. 集 合：5月19日（木）13時00分 千駄ヶ谷駅前
2. 見学箇所：羽田現場、三宅坂管制所、麻布谷町現場、ほか
3. 解 散：17時20分 新宿駅付近
4. 人 員：100名
5. 参 加 費：200円（郵便切手でも可）
6. 申 込：参加費を添えて5月10日（火）までにお申込み下さい。ただし、満員になり次第期限前でも締切ります。

（3） 地盤注入工法の手引の解説講演会 ◀ 5月24日（火）9.30～17.00 ▶

主 催：日本材料学会土質安定材料委員会
協 賛：土質工学会・土木学会関東支部・日本建築学会関東支部・高分子学会関東支部・日本材料学会関東支部

注入工法の確実な実施と円滑な発達を図るため、日本材料学会土質安定材料委員会において作成しました「地盤注入工法の手引」について解説するとともに広く一般からの討論を得たく、つぎのとおり解説講演会を開催いたします。

関係方面各位の多数ご参加を希望します。

1. 場 所：私学会館 東京都千代田区九段4の4丁目（電 東京 261—9921）中央線 市ヶ谷駅下車すぐ
2. テー マ：地盤注入工法の手引（定義、予備調査、設計、施工、注入効果の検討）
3. 解説委員：石井 俊三、市瀬 良男、植下 協、宇賀 照夫、大館辰之助、小原 洋、金津 新作、北村 八郎、久保田浩典、鈴木 健夫、西岡 繁、西田 一彦、坪井 直道、日根 修三、福住 隆二、藤井 和、前田 篤、松尾新一郎、三浦 重義、三木五三郎、三瀬 貞、宮川 勇、山内 豊聡、米倉 亮三
4. テキスト：上記テーマのテキスト（A5判）を使用する。
5. 定 員：300名
6. 参 加 費：1名1200円（テキスト部を含む）
7. 申込方法：随意用紙に氏名、所属（連絡先）等を明記し、参加料（現金書留を利用）を添えてお申込みください。
8. 申込締切：1966年5月20日（金）
9. 申 込 先：日本材料学会 土質安定材料委員会（京都市左京区吉田泉殿町1の101、電 京都 76—5321）

関西支部行事案内 (大阪市東成区中道元町1丁目149番地
電 大阪 981-2510・振替口座大阪 82599 番)

(1) 関西支部第 39 回総会

◀ 5 月 10 日 (火) 15.00~17.00 ▶

1. 場 所: 好文倶楽部集会室 電 大阪 (361) 1261 番 大阪市北区梅田2 第一生命ビル 12 階 国鉄大阪駅前
2. 総 会: 15.00~15.30 1. 諸報告 2. 新役員紹介 3. 現, 新支部長挨拶
3. 講 演: 15.30~16.10 ①日本万国博の運営について 日本万国博覧会協会事務総長 新 井 真 一
16.10~16.50 ②日本万国博の会場計画について 京都大学教授 工博 西 山 卯 三
4. 総会懇親会: 講演終了後懇親会を催します (12 階会議室, 開会 17 時よりの予定)。参加希望者は勤務先, 連絡先および氏名を
明記 (様式随意) のうえ懇親会参加費 500 円を添えて 4 月 25 日 (月) までに土木学会関西支部へお申し込み下さ
い。参加証をお送りします。
(お願い) 総会のみ参加希望のときは 4 月 25 日 (月) までにハガキまたは電話にて土木学会関西支部まで参加予定人員をご
一報方お願いいたします。

(2) 土木構造物の振動と安全性に関する講習会

◀ 5 月 24 日 (火)~25 日 (水) ▶

土木構造物の振動と安全性に関する講習会を下記のとおり開催しますから, ふるってご参加下さい。

記

1. 日 時: 1966 年 5 月 24 日 (火), 25 日 (水) の両日 10.00~17.00
2. 場 所: 大阪科学技術センター 8 階大ホール 電 大阪 (443) 5321 番 大阪市西区靱 1 丁目 118 番地 地下鉄 3 号線
濃橋下車北へ 150 m 靱公園北東角
3. 題目と講師:
第 1 日 (5 月 24 日)
10.00~10.10 開 会 埃 抄 土木学会関西支部長
10.10~11.00 ① 構造物の振動理論 京都大学助教授 工博 白 石 成 人
11.10~12.00 ② 構造物の座屈安定 東京大学教授 工博 奥 村 敏 恵
13.00~13.50 ③ 不規則振動論 東京大学講師 工博 伯 野 元 彦
14.00~14.50 ④ 土木構造物の耐震設計 京都大学教授 工博 後 藤 尚 男
15.00~15.50 ⑤ 建築構造の耐震設計の最近の傾向 京都大学教授 工博 金 多 潔
16.00~16.50 ⑥ 擁壁の動的土圧 名古屋大学教授 工博 市 原 松 平
第 2 日 (5 月 25 日)
10.00~10.50 ⑦ 橋梁の衝撃 京都大学助教授 工博 山 田 善 一
11.00~11.50 ⑧ 構造物の安全性と信頼性に関する理論 神戸大学教授 工博 西 村 昭
13.00~13.50 ⑨ 鋼構造物の極限強度 名古屋大学助教授 工博 福 本 晴 士
14.00~14.50 ⑩ 振動測定と振動障害 神戸大学教授 工博 畑 中 元 弘
15.00~15.50 ⑪ 風による構造物の振動現象 大阪市立大学助教授 工博 小 松 定 夫
15.50~15.55 閉 会 埃 抄 土木学会関西支部幹事長
4. 定 員: 300 名
5. 参 加 費: 会員 1 200 円 (テキスト代を含む) ただし講習会当日は 1 500 円となりますので, 申込期限内に前納して下さい。
非会員 1 500 円 (テキスト代を含む)
6. 申 込 期 限: 1966 年 5 月 7 日 (土)
7. 申 込 方 法: 参加希望者は勤務先, 連絡先, 氏名および会員の種別を明記 (様式随意) して上記参加費を添えて 5 月 7 日 (土)
までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。
ただし申込期限内でも定員に達した時は先着順で決めますから早く申し込んで下さい。
参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。参加証のない人は入場をお断りします。
(注) 都合により講師の順序に変更があるかも知れませんのでご了承下さい。なお中部支部でも 6 月中旬同講習会を行な
います。

(付) テキスト頒布について

(土木学会刊行)

耐震設計講習会テキスト

(土木構造物の耐震設計指針(案), 地震工学講座の2点1組)

頒価 700 円 送料 70 円

(土木学会関東支部刊行)

シールド工法の現状と問題点

〃 800 円 〃 50 円

(日本材料学会刊行)

地盤注入工法の手引

〃 300 円 〃 学会負担

(土木学会関西支部刊行)

構造工学

〃 700 円 〃 100 円

溶接構造

〃 400 円 〃 70 円

(関西橋梁鉄骨溶接研究会刊行)

プレートガーダーの耐荷力に関する理論と実験

〃 1000 円 〃 100 円

(土木学会関西支部・日本建設機械化協会関西支部刊行)

シールド工法

〃 700 円 〃 70 円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部(振替口座利用)へお申し込み下さい。

中部支部行事案内 (名古屋市中区南外堀町6の1
愛知県土木部道路建設課内 電名古屋 961-2111)

(1) 昭和41年度中部支部総会

◀ 4月23日(土) 13.00~ ▶

昭和41年度支部総会を下記のとおり開催いたします。本掲載をもって案内いたしますので会員の皆様多数ご出席下さい。

記

1. 日 時: 1966 4月23日(土) 10.00~
2. 場 所: 三重県津市萬町塔寺橋・三重県町村会館(県庁前)
3. 総会次第: ① 会務報告 ② 来賓挨拶 ③ 新旧支部長挨拶
4. 特別講演: ① 三重県の土木事情 三重県土木部長 八乙女盛男
② 名阪国道工事報告 建設省国道一課 住友栄吉
5. 見学会: 昼食後午後1時より見学会を行います。見学場所: 名阪国道~伊勢神宮~伊勢志摩スカイライン
6. 懇親会: 見学会終了後、午後6時より懇親会下記により行ないます。
 - ① 懇親会場: 三重県鳥羽市 古雅荘 会費 宿泊とも1人 2000 円
 - ② 宿泊申込先: 名古屋市中区南外堀町6の1 愛知県土木部道路建設課内 土木学会中部支部事務局

日本工学会行事案内

(1) 講演会

◀ 5月26日(木) 13.30~15.00 ▶

1. 演 題: 太平洋の底を探る(スライド各種) 東京大学教授海洋研究所 理博 奈須紀幸
2. 会 場: 日刊工業ホール(東京都千代田区飯田町1-1・都電, 地下鉄九段下車約3分)
3. 定 員: 300名 来聴歓迎

第28回住宅・都市計画・地域計画世界会議

(28th, International Federation for Housing and Planning)

1. 場 所：東京都上野公園内文化会館
2. 主 題：① 都市交通および都市形態 ② 国民経済および社会の進展にともなう低収入階層のための住宅水準
3. 日 程：1966年5月9日(月)～14日(土)
4. 4カ国同時通訳の設備あり
5. 参加登録費：① IFHP 会員 35ドル (12600円) ② 非会員 42ドル (15120円) ③ 同伴夫人 14ドル (5040円)
6. 問合せおよび申込先：東京都千代田区平河町2の9・都市計画会館内 国際住計会議運営委員会 電 東京 (262) 2001・3491
7. その他：国内参加者の予約を致しておりますので、会議の詳細は、今後この予約者に限って通知致します。

「都市再開発」講演会

◀5月20日(金) 18.00～20.00▶

共催：土木学会・日本建築学会・都市計画学会

本年5月9日より1週間東京において開催される第28回住宅・都市計画・地域計画世界会議 (International Federation for Housing and Planning, I.F.H.P. と略称) に出席される都市再開発の世界的権威者 Dugger 氏を迎えつぎにより講演会を開催いたします。ふるってご参加を下さるようご案内申し上げます。

記

1. 場 所：大阪科学技術センター 8階大ホール 電 大阪 (443) 5321
大阪市西区靱1丁目118番地 地下鉄3号線信濃橋下車北へ150m 靱公園北東角
2. 題目と講師：都市再開発について IFHP 都市再開発委員会委員長
ペンシルバニア、ピッツバーグ大学院教授 George S. Dugger
(通訳付)
3. 定 員：380名
4. 聴 講：無料、来聴歓迎
(お願い) 各職場班では参加予定人員を5月14日(土)までにハガキまたは電話にて土木学会関西支部まで
ご一報をお願いいたします。

日米科学協力事業のしおりご希望の方へ

1961年に発足した日米科学協力事業について簡単に説明した一その概要と手引き一が日本学術振興会より刊行されましたのでご希望の方は下記へご連絡下さい。

東京都千代田区神田一ツ橋1の1・日本学術振興会 日米科学協力係
なお、土木に関連のある会合・主題・代表者はつぎのとおりです。

- | | | | | |
|------|----|--------------------------|-----|----------------------|
| 会-7 | 主題 | 地震予知 | 代表者 | 萩原 尊礼 (東京大学) |
| 会-10 | " | 海岸工学 | " | 本間 仁 (東京大学) |
| 会-11 | " | 第2回台風ハリケーン研究計画会議 | | |
| | | | " | 和達 清夫 (国立防災科学技術センター) |
| 会-35 | " | 流体計測法 | " | 谷 一郎 (東京大学) |
| 会-58 | " | 土の動力学 | " | 最上 武雄 (東京大学) |
| 地-12 | " | 西部太平洋における重力の基準測定 | | |
| | | | | 金子 収事 (国土地理院) |
| 地-14 | " | 1964年3月28日アラスカ地震津波の現地調査 | | |
| | | | | 河角 広 (東京大学) |
| 地-15 | " | 1964年3月28日アラスカ地震の余震調査 | | |
| | | | | 安芸 敬一 (東京大学) |
| 地-16 | " | 日米両国製強震計による太平洋地域の強震の比較観測 | | |
| | | | | 河角 広 (東京大学) |